

瀬戸内海の漁業

瀬戸内海は古来より豊かな海の幸に恵まれ、沿岸漁業の先進地として多様な漁業形態が発達しており、特に海面養殖業及び栽培漁業については、その発祥の地として極めて重要な役割を果たしています。我が国における海面漁業生産額の約1/5を占める当事務所所管内の漁業の一層の進展を図ることは、水産業の健全な発展を図る上で重要な課題となっています。

○瀬戸内海の漁業の位置付け(平成20年)

	全国	瀬戸内海漁業調整事務所所管内計	シェア	瀬戸内海区	シェア	太平洋南区(宮崎県を除く)	シェア
海面漁業生産量(百トン)	55,197	7,305	13.2%	4,153	7.5%	3,152	5.7%
漁業	43,733	4,052	9.3%	1,986	4.5%	2,066	4.7%
養殖業	11,464	3,253	28.4%	2,167	18.9%	1,086	9.5%
海面漁業生産額(億円)	15,421	3,179	20.6%	1,505	9.8%	1,674	10.9%
漁業	11,243	1,714	15.2%	996	8.9%	718	6.4%
養殖業	4,178	1,465	35.1%	509	12.2%	956	22.9%

資料:『平成20年漁業・養殖業生産統計年報(併載:漁業生産額)』農林水産省

注1 表示単位未満は四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

注2 「瀬戸内海漁業調整事務所所管内計」のデータは、瀬戸内海区及び太平洋南区(宮崎県を除く)の海域の漁獲実績を合計したものの

注3 「瀬戸内海区」のデータは、大阪府・岡山県・広島県・香川県の面する海域及び和歌山県・徳島県・兵庫県・山口県・愛媛県・福岡県・大分県の面する海域のうち瀬戸内海側の海域における漁獲実績を積み上げたもの。

注4 「太平洋南区」のデータは、①高知県の面する海域及び②和歌山県・徳島県・愛媛県・大分県の面する海域のうちの太平洋側の海域における漁獲実績を積み上げたもの。

○瀬戸内海における主な魚種別漁業種類別漁業生産量及び養殖業生産量並びに生産額(平成20年)

	瀬戸内海区		太平洋南区(宮崎県を除く)	
漁業生産量 計(百トン)		1,986		2,066
魚種1位	かたくちいわし	393	さば類	316
魚種2位	しらす	279	まあじ	198
魚種3位	いかなご	178	そうだかつお	142
上位3位シェア		42.8%		31.8%
漁業種類1位	船びき網	754	中小型まき網	503
漁業種類2位	小型底びき網	562	まぐろ延縄	282
漁業種類3位	中小型まき網	197	かつお一本釣り	272
上位3位シェア		76.2%		51.2%
漁業生産額 計(百万円)		99,595		71,805
魚種1位	しらす	10,257	めばち	8,127
魚種2位	たこ類	7,989	きはだ	5,775
魚種3位	いかなご	7,469	まあじ	4,684
上位3位シェア		25.8%		25.9%
養殖生産量 計(百トン)		2,167		1,086
第1位	かき類養殖(殻付き)	1,153	ぶり養殖	394
第2位	黒のり養殖(板のり)	682	かんばち養殖	115
第3位	かき類養殖(むき身)	217	ひらめ養殖	17
養殖生産額 計(百万円)		50,941		95,565
第1位	かき類養殖	17,003	ぶり類養殖	42,141
第2位	のり類養殖	14,047	真珠養殖	5,953
第3位	ぶり類養殖	10,559	ひらめ養殖	2,418

資料:『平成20年漁業・養殖業生産統計年報(併載:漁業生産額)』農林水産省

注5:複数をまとめた項目(「その他の魚類養殖」等)については上記の順位から除外した。

○瀬戸内海の主要魚種等の生産量・生産額に関する全国シェア率について(平成20年)

		瀬戸内海区				太平洋南区(宮崎県を除く)				
		種目名	瀬戸内海区	全 国	全国シェア	種類名	太平洋南区	全 国	全国シェア	
海面漁業	生産量 (百トン)	魚種別1位	かたくちいわし	393	3,450	11.4%	さば類	316	5,203	6.1%
		魚種別2位	しらす	279	698	40.0%	まあじ	198	1,723	11.5%
		魚種別3位	いかなご	178	621	28.7%	そうだかつお	142	280	50.7%
		漁業種類1位	船びき網	754	2,554	29.5%	中小型まき網	503	4,195	12.0%
		漁業種類2位	小型底びき網	562	4,574	12.3%	まぐろ延縄	282	1,793	15.7%
		漁業種類3位	中小型まき網	197	4,195	4.7%	かつお一本釣り	272	1,176	23.1%
	生産額 (百万円)	魚種1位	しらす	10,257	26,660	38.5%	めばち	8,127	59,550	13.6%
		魚種2位	たこ類	7,989	28,138	28.4%	きはだ	5,775	36,104	16.0%
		魚種3位	いかなご	7,469	12,885	58.0%	まあじ	4,684	40,070	11.7%
養殖漁業	生産量 (百トン)	魚種別1位	かき類養殖 (殻付き)	1,153	1,903	60.6%	ぶり養殖	394	1,021	38.6%
		魚種別2位	黒のり養殖 (板のり)	682	3,241	21.0%	かんぱち養殖	115	473	24.3%
		魚種別3位	かき類養殖 (むき身)	217	300	72.3%	ひらめ養殖	17	42	40.5%
	生産額 (百万円)	第1位	かき類養殖	17,003	30,907	55.0%	ぶり類養殖	42,141	116,055	36.3%
		第2位	のり類養殖	14,047	80,789	17.4%	真珠養殖	5,953	13,280	44.8%
		第3位	ぶり類養殖	10,559	116,055	9.1%	ひらめ養殖	2,418	6,106	39.6%

資料:『平成20年漁業・養殖業生産統計年報(併載:漁業生産額)』農林水産省